

「VERA 10周年、新たな連携へ」



記念式典でVERA 10年の研究成果を発表

国立天文台（林正彦台長）は10月5日、天文広域精測量遠鏡（VERA）の本格運用開始10周年を記念し、市文化会館で記念式典を行いました。式典にあわせて、VERA観測所がある当市、鹿児島県薩摩川内市、東京都小笠原村、沖縄県石垣市の首長らによるサミットを開催。今後、4市村で友好活動を進めていくことを確認しました。

「東北の産業創造について情報交換」



星野敏日本ビジネス・インキュベーション協会長による講演の様子

第9回みちのく奥州イブニングサロン（世話人会主催）が10月17日、水沢グランドホテルで開催されました。今回は東北IM連携協議会のワークショップとの共同開催で、市内企業や東北各地の産学官関係者ら94人が参加。新事業創出の講演や各企業の事例発表、情報交換会を通じ、産学官連携やネットワークの構築など研鑽を図りました。

「アテルイ伝ロケ」



アテルイを演じる大沢たかおさん

来年1月に放送されるNHKのBS時代劇「火怨・北の英雄アテルイ伝」のロケが10月2日から12日まで、えさし藤原の郷などで行われました。アテルイは、朝廷軍の襲撃に對し命をかけて郷土を守ろうとした古代東北の英雄。アテルイ役の大沢たかおさんは「アテルイは人や自然の痛みが分かる人間だったと思う。それに近付けるように演じ、全国にその存在意義を伝えたい」と、ドラマにかける意気込みを語りました。ロケには延べ360人の地元エキストラも参加しました。

「えさし郷土文化館入館者が30万人に」



30万人目の入場となった園児たち

えさし郷土文化館（相原康二館長）の入館者数が10月3日、延べ30万人を達成しました。平成12年4月の開館から12年半で迎えた節目。同館は、郷土の歴史文化をテーマにした展示や企画展、学習会などを開催しています。この日、30万人目となったのは、市立岩谷堂幼稚園（佐藤園子園長）の年長組26人。くす玉を割りみんなで喜び合いました。

「えさし藤原の郷の入場者数は400万人に」

えさし藤原の郷の入場者数が10月7日、延べ400万人を達成しました。同施設は、NHK大河ドラマ「炎立つ」のロケをきっかけに建設され、5年7月にオープン。以来、歴史と文化を体験できるテーマパークとして、またロケ地として活用されてきました。400万人目となった仙台市の荒島義明さんには、記念品が贈られました。



400万人目の入場となった荒島義明さん

「日常生活に男女共同参画の浸透を」



男女共同参画について語る坂東眞理子さん

市などが主催する「男女共同参画講演会」を10月6日、市文化会館を会場に、昭和女子大学学長の坂東眞理子さんを講師に迎え、開催しました。約700人が会場へ詰め掛け「男女共同参画には男性の理解が必要」と語る講師の話に耳を傾けました。同講演会は、男女共同参画社会の構築を目的に毎年開催しているものです。

「安全で安心な住みよいまちづくり」



やさしい表情で語りかける千葉紘子さん

市などが主催する「地域安全・暴力団追放胆江地区民大会」を10月17日、市文化会館を会場に開催しました。コンクール表彰や大会宣言、中学生による「わたしの主張」の発表に続き、歌手活動の傍ら、篤志面接委員や保護司を務める千葉紘子さんの特別講演が行われました。歌を交えたお話に、来場者はうなずきながら防犯意識を高めていました。

「市社会福祉大会」



記念講演で熱演する志村尚一氏

市社会福祉協議会（高橋光夫会長）主催の第7回市社会福祉大会が10月19日、市文化会館で開催され、市民など約1100人が出席しました。大会では、社会福祉の向上に功績のあった288人と112団体に表彰状、感謝状を贈呈しました。その後、「地域のきずな、心の豊かさとは」と題し、(有)ウィルビーの志村尚一代表取締役による記念講演が行われました。一人芝居を織り交ぜながらの講演に、会場は笑いに包まれながらも、福祉とは何かをあらためて考える機会となりました。

「おめでとぅー！百歳を祝い2人に記念品」

市は、10月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

千葉正子さんⅡ水沢区東大通りⅡは北上市相去町に生まれ、18歳で故・一十さんと結婚。3男2女をもうけ、孫8人、ひ孫6人に恵まれました。国鉄勤務の夫は54歳の若さで他界。その頃、水沢に移住し、保険営業の職に就きました。マージャンやショッピングが好きで、料理も得意な正子さん。記念品を手渡されると、「お祝いに来てくれてありがとうございます。光栄に思っています」とはつきりとした口調で感謝の気持ちを伝えています。



孫から花束を受け取る千葉正子さん

の気持ちを語りました。

前田マサヨさんⅡ衣川区富田Ⅱは前沢区生母に生まれ、18歳のとき、故・貞雄さんと結婚。5女をもうけ、孫9人、ひ孫14人、やしゃご1人に恵まれました。戦時中は、女所帯の働き手として、農業で生計を立てました。若い頃は、裁縫や編み物が得意で、現在は、日記を付けることと新聞を読むことが日課。毎日3食きっちり食べ、歩行器を使っています。体力維持に努めています。週3回のデイサービスでは、パズルや計算問題などを楽しんでいます。



ろうそくの火を吹き消す前田マサヨさん